

広報戦略に取り組むにあたって (第1章)

■ 広報戦略の背景と必要性

市民を取り巻く情報環境がますます発展・多様化し、情報の価値が高まっている

↓
市民がまちづくりに参画し行政と協働するにあたって、行政情報がより求められている

↓
行政が積極的に市民に情報を発信し共有する必要がある

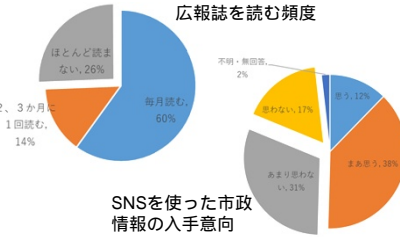
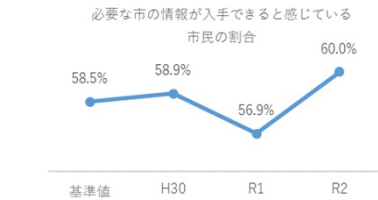
↓
戦略的な広報プランの展開が必要

■ これからの広報に求められるもの

- 情報共有を通じた市民と行政の間の、双方向のコミュニケーションと良好な関係づくり
- 事業・業務のお知らせや結果だけでなく、考え方や途中経過なども含めた情報の発信
- 市民にとって分かりやすく伝わりやすい情報の発信
- リスク発生時の市民の不安解消と行政への信頼回復

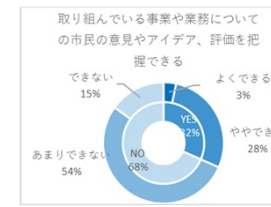
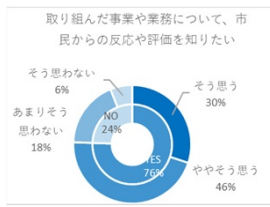
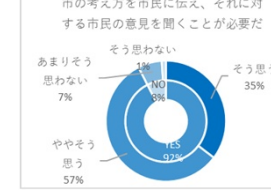
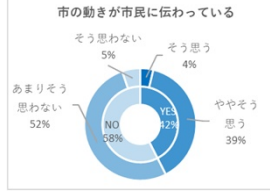
広報活動の現状と課題 (第2章)

■ 市民の状況



市の情報が十分に伝わっていない
広報誌以外の新たな情報伝達手段が必要

■ 職員の状況



市の情報が市民に十分に伝わっていない。

市民に情報を伝える重要性は認識している。

情報を共有して事業・業務にフィードバックする意欲がある。

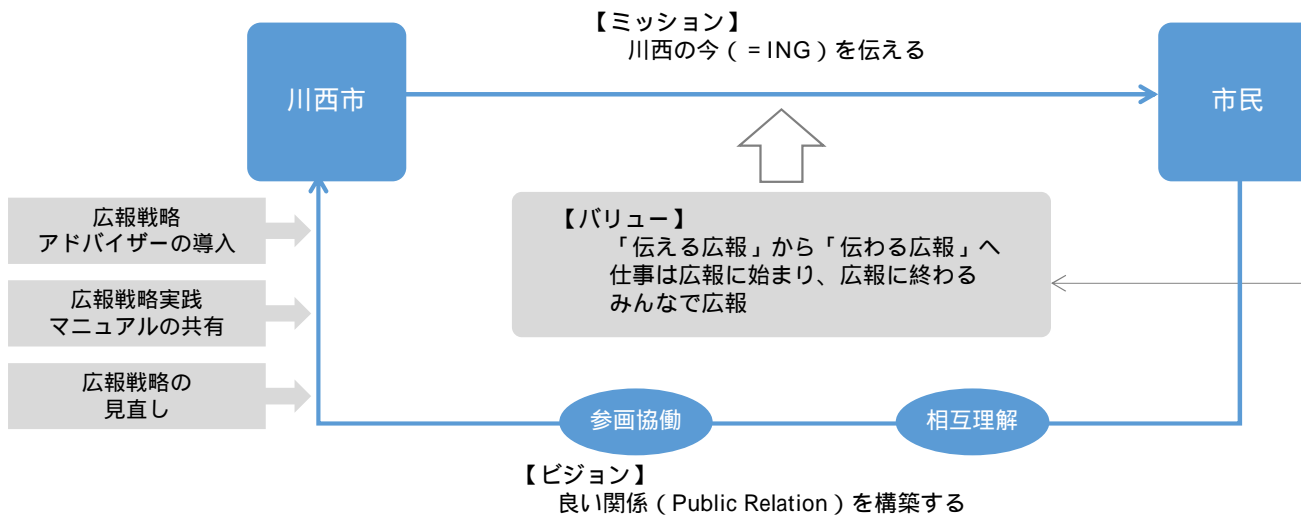
市民の意見などを把握できていない。

【課題1】
全職員が広報活動する体制とする必要がある

【課題2】
情報の伝達力を高める必要がある

【課題3】
リスク発生時の広報力を高める必要がある

広報戦略の展開 (第3章)



【目標1】全庁的な広報力を向上させる

- (1) 職員の広報意識の強化
 - 職員研修の実施
 - 職員アンケートの実施
- (2) 広報技術の強化
 - 広報キーパーソンの養成
 - 広報活動(デザイン)の支援

【目標2】広報広聴課の広報力を向上させる

- 広報誌の充実
 - 編集ディレクターの導入
 - 内容・デザインのリニューアル
- デジタル系メディアの活用
 - 市HPのリニューアル
 - 市政動画の作成
 - デジタルサイネージの運用
 - SNSの活用
- パブリシティ(報道機関への情報提供)の強化
 - プレスリリースサイトの活用
 - メディアセンターの運用
- 広報状況のモニタリング

【目標3】リスク対応力を向上させる

- リスク対応方針や体制の整備
- 管理職研修の実施
- リスク発生時の情報開示

【広報戦略のテーマ】

みんなで伝える
みんなに伝わる **kawanishING**